

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 1999年1月1日 ～ 2025年12月31日の間に、常染色体顕性多発性嚢胞腎・腹直筋鞘血腫 のために虎の門病院分院腎センター内科科に入院・通院し、治療 を受けられた方

【研究課題名】

常染色体顕性多発性嚢胞腎患者における腹直筋鞘血腫の発症因子の研究

【研究の目的・背景】

腹直筋鞘血腫(RSH)は急性腹症症例の中でも比較的稀な病態であるが、稀に致死的となりうる疾患である。抗血小板薬の使用や咳嗽などが誘因となり、腎不全もリスク因子の一つとして知られている。常染色体顕性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者においては腎不全に加え、嚢胞の増大による腹腔内圧の上昇・腹壁の脆弱化をもたらすことRSHのリスクになりうると考えられるが、リスクに関しては十分認識されていない。本研究では当院で経験したADPKD患者に合併したRSH症例の臨床経過を検討し、本研究を通じてADPKD患者特有のリスクについて考察することで、本疾患に対する診断・治療方法を提案することを目的とする。

【研究期間】

2026年4月16日 ～ 2026年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院 澤 直樹のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

・患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、薬歴、透析歴）、カルテ記録、血液検査データ、画像検査データ（X線、MRI、CT）、臨床写真、治療内容、転帰

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：腎センター内科 澤直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)